



# 日本三景松島

## 丸文松島汽船株式会社

震災復興語り部クルーズについて

ここ数年 東北には多くの震災遺構が出来まして、多くの語り部があの時の教訓を伝えております。

当社 丸文松島汽船につきましては営業再開後多くの方々にご乗船頂きましたが、殆どの方々から励ましの言葉と同時に「あの時ここはどうだったの？」と質問されました。

そんな時、ボランティア活動で来ていた早稲田大学の生徒の皆さんから「辛いかもしれません、この話は未来のために伝えるべきです」と言われ、それがきっかけで始まったのが震災語り部クルーズになります。

# 松島復興語り部クルーズ

- ・写真パネルなど使用し、当時の松島・塩釜の被害状況や体験したことなどを話すのですが、一番伝えたい事は人と人の繋がり・交わりなど、今後の人生で一番大事であろうことをお話させて頂きます。

# 東日本大震災

震災時、日本三景松島には約1,800人の観光客の方々がおりましたが、湾内に点在する多くの島々のお蔭で津波到達時間が他の地域よりも約50分程遅くなつた為、避難する時間の猶予が出来ました。

立地条件に恵まれ全員無事に避難することが出来たと言っても過言ではないと思いますが、1978年の宮城県沖地震以降、松島町では町と観光施設が連携し避難訓練をやっておりました。3月11日はその訓練の成果が発揮された日でもありました。

# 【前ページの補足】

<2011年3月11日 地震発生から津波到達まで>

地震発生 14:46

津波到達 16:13

津波第一波 3. 2m

第二波 3. 8m

# 津波警報発令

- ・ 松島町では地震発生から約20分後くらいに避難発令が出ました。
- ・ 過去に何度か津波注意報等は発令されていましたので、まさか！？という思いがった
- ・ 目の前にある海の海面が下がり、引き潮になったので大津波を確信した。

# 大津波発生時の遊覧船乗り場と塩釜市内

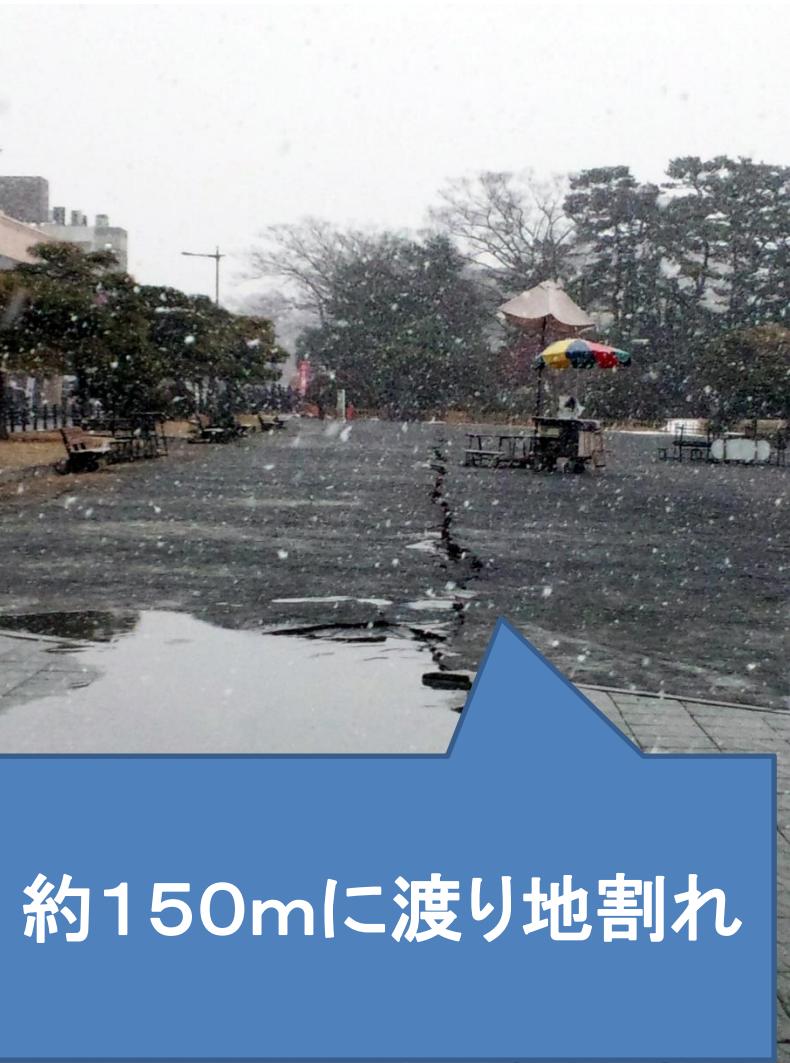


# 2011年3月 東日本大震災時の日本三景松島



# 松島 中央広場 周辺

歩道の陥没



# 【前ページの補足】

1978年(昭和53年)6月12日 宮城県沖地震の際 建物倒壊などで県内で28名が犠牲になりました。

そういうったところから、津波だけではなく陸上でも沢山の危険があり、減災についても伝えなければならぬと考えております。

# 震災時と震災後

松島 遊覧船乗り場前広場



← 地震発生時の地割れ



← 震災後



冠水した道での救急隊による救助活動（第一小学校前）

## 松島町内国道45号線



震災時の冠水



第一小学校前・現在



震災後

# 震災時の仁王島



# 震災後の仁王島



# 2011年3月11日以降について

営業再開に向け、事務所の内外に溜まった泥掃除や、湾内の浮遊物清掃など朝から晩まで毎日やりました。

ラジオ等で他の地域が壊滅状態ということを知り、被害が大きくはなかった松島から「元気を発信しよう！」と社員が一丸となり、4月29日からの営業再開に何とか漕ぎつけました。



震災前の仁王島



震災前の長命穴



震災時の仁王島



震災後の長命穴



震災時、奇跡の島と呼ばれた桂島。

津波で約40軒の家屋が流されたが、島民は全員無事に避難した。

運航は再開しましたが、崩れ落ちた島々や  
桂島の倒壊した家屋、砂浜の漂流物など  
お客様には見せたくないところも多くありました  
が、どのお客様もその光景を受け入れて  
下さったことに心を打たれたことを今でも  
覚えております。

# 語り部の様子



遊覧船内での  
震災語り部クルーズ

企業目線での  
震災語り部講話

# 震災語り部クルーズについて

- ・地震発生から津波到達までの松島湾について
- ・避難開始からその後について
- ・翌日以降について
- ・社員それぞれが体験したこと

(例) 船内売店係 横山純子

震災当日、ケンカ別れをしてしまった両親に「ごめんなさい」を言えなかつたことを10年経つた今でも後悔している。

「誰にでも当たり前のように明日が来る訳ではない」

だからこそ！という、人と人の繋がりが如何に大切かという事と、感謝や謝罪の思いはその時、その場で相手の目を見て伝えることの大切さなど、思春期を迎えた生徒さんへ話します。

# 遊覧コース・料金について

【遊覧コース】  
・松島湾内一周政宗コース

(松島桟橋～松島桟橋 所要50分)

・芭蕉コース遊覧

(松島桟橋 ⇄ マリンゲート塩釜 所要50分)

【料 金】 生徒・引率教職員 同額 1,050円  
語り部 無料(要 事前予約)

<問い合わせについて>

丸文松島汽船株式会社

電話:022-354-3453

FAX:022-354-6170

Mail: matsushima@marubun-kisen.com

担当: 矢部 善之

村田 望